

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32106	Access 応用演習 Advanced Skills for Access	尾関 晃	専門	1	選択	1・2 年 後期

科目の概要

この応用演習では、Access 基礎演習で学んだ「テーブル」「リレーションシップ」「クエリ」「フォーム」「レポート」をさらにステップアップした機能・操作の習得をします。高度な機能を使って効率よく作業をするための操作方法を身に付け、実用的なデータベースを構築する方法を学びます。また実習時間を多く確保しますので、より理解を深めることができます。この授業では情報社会で必要となるデータベースシステムの構築する力を身につける。

学修内容	到達目標
① アナログとデジタルのデータベースについて理解する。 ② Access2016 の応用機能「アクションクエリ」について理解する。 ③ Access2016 の応用機能「メイン・サブフォーム」について理解する。 ④ Access2016 の応用機能「メイン・サブレポート」について理解する。 ⑤ Access2016 の応用機能「様々な関数」について理解する。	① 実用的なデータベースの構築について理解できる。 ② 「アクションクエリ」につちえ理解し、作成できる。 ③ 「メイン・サブフォーム」について理解し、作成できる。 ④ 「メイン・サブレポート」について理解し、作成できる。 ⑤ 「様々な関数」について理解し、作成できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業以外の時間を使い、応用機能「アクションクエリ」「メイン・サブフォーム」「メイン・サブレポート」、様々な関数の使用をスムーズに行えるよう努力を惜しまず取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	授業以外の時間を使い、授業で学んだ Access の応用機能「アクションクエリ」「メイン・サブフォーム」「メイン・サブレポート」、様々な関数の使用を繰り返し粘り強く練習する。
考え抜く力	課題発見力	情報を客観的に整理し、入力ミスや記入間違いなどの問題を見極め取り組む。
	計画力	
	創造力	Access の応用機能の中で、自分が不得意とする機能について、どのようにすれば習得できるか自分に適した方法を考え実践してみる。
チームで働く力	発信力	理解度を確認するため、「練習問題」を行うので、操作説明をよく聞き、理解できないところは積極的に質問し解決する。理解できるまで取り組む姿勢を持つ。
	傾聴力	教員の説明を聞かずに、自分の解釈で勝手に先に進まないよう、しっかり説明を聞き、メモを取りながら受講する。
	柔軟性	
	状況把握力	データベースは複数のデータを様々な形式でみることになる。1 つひとつの要素がどのような関係なのかを意識して取り組む。
	規律性	演習授業であり、毎週、新しいことを学ぶため、無断欠席、遅刻をしない。授業中は私語を慎み不明な点は積極的に質問をし、授業時間内で解決できるようにする。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:「よくわかる Microsoft Access 2016 応用」(FOM 出版)

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他の科目との関連:「Access 基礎演習」

資格との関連: 情報処理士、ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
応用的な操作だけではなく、基礎で学んだことを復習しながら授業を進行する。Access 基礎演習を受講していることが好ましく、Access の基本操作ができることが前提となる。事後学修として授業で学んだ操作を反復練習するとよい。	演習授業であるので欠席せず、スキルを積み上げていくことが必要。解らないことは、その都度担当教員へ質問する。基礎演習と比べ難易度が高くなるため、演習問題を真剣に取り組むこと。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト	30	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> 授業内で、Access2016の応用機能が理解できているか確認する為の実技小テストを行なう。 基本的に、総合演習問題の中から出題する。
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	60	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> Access2016の応用機能である「アクションクエリ」「メイン・サブフォーム」「メイン・サブレポート」「様々な関数」について、それぞれの内容に該当する練習問題に取り組んでもらう。それらのデータがしっかりと理解され、作られているかを評価する。 練習問題がひとつでも未提出の場合は不合格とする。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> データベースについて学ぶ姿勢や、Access2016を習得する為に必要となる、データの正確な扱いができるかを評価する。 出欠席は、減点方式で行なう。 (主体性) 授業以外の時間を使い、応用機能や様々な関数の利用をスムーズに行えるよう取り組むことができる。 (実行力) 授業以外の時間を使い、応用機能や様々な関数の利用を繰り返し練習することができる。 (課題発見力) 情報を客観的に整理し、入力ミスや記入間違いなどの問題を見極め取り組むことができる。 (創造力) 自分が不得意とする操作について、どのようにすれば修得できるか自分に適した方法を考え、実践することができる。 (発信力) 理解できないところは、積極的に質問し解決することができる。 (傾聴力) しっかりと説明を聞き、メモを取りながら受講することができる。 (規律性) 無断欠席、遅刻をせず、授業中は私語を慎み、授業時間内で解決できる。
その他			
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀): 授業態度の評価コメントの内容が、しっかりとクリアされていること。</p> <p>A(優): 指定した基本機能すべての練習問題が提出された上で、出題した練習問題にも自主的に取り組み、それぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。</p>	<p>B(良): 指定した基本機能すべての練習問題が提出され、それぞれが一定のクオリティを保って制作できていること。</p> <p>C(可): 指定した基本機能すべての練習問題が提出されおり、理解するために授業に取り組むことができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	はじめに 授業の進め方/Access の使い方 方を復習。	講義演習	授業の進め方について 理解する。基礎の内容が 理解できている。	(予習)Access の基 礎機能について復 習しておく。	90	課題 発見力
2週 /	テーブルの活用/フィールドプ ロパティの設定、テーブルの活 用について理解する/演習問 題に取り組むことで理解を深め る。	演習 フィードバック: 適時、演習の内容に ついて解説。	フィールドプロパティの設 定、テーブルの活用につ いて理解できること。	(予習)Access の基 本的な構造につい て復習しておく。	90	主体性 計画性
3週 /	リレーションシップの参照整合 性 リレーションシップの設定、参 照整合性について理解する/ 演習問題に取り組むことで理 解を深める。	演習 フィードバック: 適時、演習の内容に ついて解説。	リレーションシップの設 定、参照整合性について 理解できる。	授業内で演習問題 ができなかった場 合、各自で進める。	90	主体性 実行力
4週 /	クエリの活用 様々な関数の利用、クエリのフ ィールドプロパティの設定など について理解する/演習問題 に取り組むことで理解を深め る。	演習 フィードバック: 適時、演習の内容に ついて解説。	様々な関数の利用、ク エリのフィールドプロパティ の設定などについて理解 できる。	(予習)様々な関数 について復習して おく。	90	主体性 計画力
5週 /	アクションクエリの作成(1) アクションクエリ、不一致クエ リの構造について/ノーマルなク エリとの違いについて理解す る。	演習	アクションクエリの作成、 不一致クエリの構造、ノ ーマルなクエリとの扱い方 について理解できる。	(予習)普通のク エリとアクションク エリの構造の違いをよ り理解するために 復習しておく。	90	主体性 計画性
6週 /	アクションクエリの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏ま え、クエリの作成の練習問題に 取り組むとことで理解する)	演習 フィードバック: 適時、演習の内容に ついて解説。	アクションクエリの作成に ついての演習問題をこな し、内容について理解で きる。	授業内で演習問題 ができなかった場 合、各自で進める。	90	主体性 計画性
7週 /	フォームの活用(1) コントロールの作成、データ の入力順序の設定を理解し、フ ォーム活用の基礎を身につけ る。	演習	コントロールの作成、デ ータの入力順序の設定を理 解できる。	(復習)フォームを作 成する際に注意す る点を復習し、次 回の演習問題に備 える。	90	主体性 実行力
8週 /	フォームの活用(2) 演習問題(前回の内容を踏ま え、フォーム活用の作成を含む 練習問題に取り組むとことで理 解する)	演習 フィードバック: 適時、演習の内容に ついて解説。	フォーム活用の作成を練 習問題に取り組むことで 理解できる。	授業内で演習問題 ができなかった場 合、各自で進める。	90	主体性 計画性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	メイン・サブフォームの作成(1) メイン・サブフォームの作成、関数の利用について学び、ノーマルなフォームの違いについて理解する。	演習	メイン・サブフォームの作成が理解でき、様々な関数が利用できる。	(復習)メイン・サブフォームについて復習し、次回の演習問題に備える。	90	主体性 実行力
10週 /	メイン・サブフォームの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、フォーム活用の作成を含む練習問題に取り組むとことで理解する)	演習 フィードバック: 適時、演習の内容について解説。	メイン・サブフォームの作成を練習問題に取り組むことで理解できる。	授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。	90	主体性 計画性
11週 /	メイン・サブレポートの作成(1) メイン・サブレポートの作成、関数の利用について学び、ノーマルなレポートとの違いを理解する。	演習	メイン・サブフォームの作成、関数の利用について理解できる。	(復習)メイン・サブレポートや印刷について復習し、次回の演習問題に備える。	90	主体性 実行力
12週 /	メイン・サブレポートの作成(2) 演習問題(前回の内容を踏まえ、フォーム活用の作成を含む練習問題に取り組むとことで理解する)	演習 フィードバック: 適時、演習の内容について解説。	メイン・サブレポートの作成を練習問題に取り組むことで理解できる。	授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。	90	主体性 計画性
13週 /	レポートの活用 集計行のあるレポートの作成、累計の設定、教師の作成について理解する/演習問題に取り組む。	演習 フィードバック: 適時、演習の内容について解説。	集計行のあるレポートの作成、累計の設定、表紙の作成を理解できる。	(復習)集計行のあるレポートの作成について復習する。	90	主体性 実行力
14週 /	総合問題(1) ここまで取り組んできた Access 応用のアクションクエリ制作などの総合演習問題に取り組み理解を深める。	演習 授業全体に対するフィードバックを行う。	Access 応用で学んだ主要な内容、アクションクエリ作成など、問題をときながら理解できる。	授業内で演習問題ができなかった場合、各自で進める。	90	主体性 計画性
15週 /	総合問題(2) 総合演習問題のつづき、小テストを行なう。	演習 小テスト	総合演習問題、小テストに取り組み Access2016 で必要な応用機能が理解できる。	(予習)小テストのために授業で学んだこれまでの内容を総復習する。	90	主体性 実行力 課題 発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力